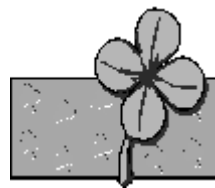


MY FAVORITE SPOTS and EVENTS

このコーナーでは、「あまり知られていない、わたしのおすすめスポットや行事」を会員のみなさんに紹介していただきます。

ガイドスポットの選択のひとつに加えてみてはいかがでしょうか？

今回のご紹介は内藤裕子さん（正会員）からの「おすすめ」です。



醸造業で栄えた半田市の歴史と文化を辿ってみませんか？

☆名称：半田運河と蔵のまち・赤レンガ建物

☆概要：知多半島最大の半田市は、古くから地域の経済・産業・文化の中心を担ってきました。醸造業に代表される黒板囲いの蔵が今も残る静かな半田運河沿いに当時のなごりがあります。江戸時代には大きな酒樽・酢樽を積んだ廻船が半田港と江戸を往復していました。このあたりは、今も明治時代の豪商の邸宅（国の登録有形文化財・重要文化財）等が点在しています。地図を片手にぶらぶら歩き、当時の賑やかだった運河界限の人々の営みを感じてください。

運河を離れ北に向かい、当時染物屋が多くあった紺屋街道を抜けて、明治時代にビール工場として建造された全国で最大級の規模を誇る半田赤レンガ建物にも足を運んでみませんか。

また忘れてはならないのが、半田市に31輛ある豪華絢爛な山車です。豪商が古くから海運・醸造業で財をなした町らしく、300年余の繁栄の歴史と伝統がここに見られます。

☆見所ポイント

＊ミツカンミュージアム：日本唯一の酢の博物館。江戸時代に始まった酒造業で余った酒粕から、酢を大量に作ることに成功。米酢に比べて安価で旨味と甘みもある粕酢が人気となり、江戸での握り寿司ブームに一役担ったともいわれています。当時の歴史・醸造技術・作業工程を丁寧に紹介しています。体験型のツアーも楽しめます。事前予約が必要です。

＊国盛酒の文化館：200年前に建てられた酒蔵をそのまま利用した文化館です。1844年に創業された国盛の伝統の道具や資料を見学できるほか、試飲もできます。事前予約が必要です。

＊半田赤レンガ建物：明治31年、丸三麦酒のビール工場として誕生し、今では幻となったカブトビールを全国に出荷しました。建物は国の登録有形文化財・近代化産業遺産です。当時のレシピを基にしたカブトビールが売られています。

※上記3つの施設は、コロナウイルスの影響で休館または通常の営業とは異なる可能性があるため、確認が必要です。

＊半田山車まつり：5年に一度、半田10地区から31輛の山車が一堂に会する様は圧巻です。春の例祭には各地でそれぞれ山車が曳き廻されます。中でも亀崎地区の潮干祭りは山車を海に向けて曳く豪快なもので、国の重要無形民俗文化財・ユネスコ無形文化財に登録されています。

☆アクセス：半田運河までは

＊マイカー 知多半島道路「半田中央」ICから約15分

＊名鉄河和線「半田」駅から徒歩約15分 または JR武豊線「半田」駅から徒歩約5分

☆参考URL：[半田市観光ガイド | 半田市観光協会公式サイト \(handa-kankou.com\)](http://handa-kankou.com)

